

国内初の「星空保護区」誕生 西表石垣国立公園が「ダークスカイ・パーク」に認定

国際ダークスカイ協会（IDA、米国アリゾナ州）が認定する、暗くて美しい夜空を保護する「星空保護区」に、沖縄県の西表石垣国立公園が2018年3月30日（現地時間）に正式に認定された。日本初の認定であり、世界で59番目の「ダークスカイ・パーク」となる。（星空保護区全体では96番目）

日本の最南西端、沖縄県・八重山諸島に位置する西表石垣国立公園は、光害の少ないとても暗い夜空の環境を有しており、世界でも有数の星空観測エリアとなっている。この優れた星空環境を保護していくため、2017年7月、石垣市と竹富町は西表石垣国立公園陸域内（40,653ha）を「ダークスカイ・パーク」としてIDAに申請した。

星空保護区の審査過程において、IDAの基準を満たしていない公園内の屋外照明の改修計画について議論が続いていたが、5年以内に区域内の全ての屋外照明を改修する方針が決定し、今回は暫定認定となった。



◎星空ツーリズム株式会社

国内初の「星空保護区」認定によって、地域の星空のブランド力が高まり、星空資源を活用した観光振興が期待されると共に、八重山諸島の夜の自然環境や固有の生態系の持続的な保全にもつながる。

国際ダークスカイ協会のエグゼクティブ・ディレクター、スコット・フィーラベンド氏は「日本初となる星空保護区を本日発表できることを、大変うれしく思う。暗い夜空の価値に対する日本の方々の意識が高まっているという重要なサインであり、同じような保護区がアジアでさらに広がっていくことを期待している」とコメントを寄せている。

【星空保護区認定制度について】

国際ダークスカイ協会が2001年に始めた「ダークスカイプレイス・プログラム」（和名：星空保護区認定制度）は、光害の影響のない、暗く美しい夜空を保護・保存するための優れた取り組みを称える制度です。認定には、屋外照明に関する厳格な基準や、地域における光害に関する教育啓発活動などが求められます。「ダークスカイ・パーク」「ダークスカイ・コミュニティ」など5つのカテゴリーがあり、全てのカテゴリーの認定地を総称して、国内では「星空保護区」と表記しています。

星空保護区認定制度ウェブサイト <http://idatokyo.org/hogoku>

【国際ダークスカイ協会について】

国際ダークスカイ協会（IDA）は、光害問題に対する取り組みで先導的な役割を担う組織として、世界中で広く認知されています。1988年に設立され、米国アリゾナ州ツーソンにある本部と、世界18カ国の64支部（2018.3現在）を有するNPO団体です。

国際ダークスカイ協会ウェブサイト <http://www.darksky.org/>

<本件に関する問い合わせ先>

石垣市 企画部 観光文化スポーツ局 観光文化課 TEL:0980-82-1535 FAX:0980-82-1911

竹富町 政策推進課 TEL:0980-82-6191 FAX:0980-82-6199